

AIネットワークをめぐる競争的エコシステム構築に向けた社会科学的研究

「AIネットワーク化」とは、AIシステムがインターネットその他の情報通信ネットワークと接続され、他のAIシステム又は他の種類のシステムと連携するようになることを総称する概念。

AIネットワーク化がもたらすインパクト

【公共】公共インフラ、防災、スマートシティ、行政

【生活】生活支援、豊かさ創造（創造的活動、コミュニティ活動等）

【産業】分野共通（コーポレート業務等）、農林水産、製造業、運輸・物流、卸売・小売、金融・保険、医療・介護、教育・研究、サービス業、建設

AIネットワーク化の進展がもたらすリスク

AIネットワークに期待される機能が適正に発揮されない

AIネットワークにより権利利益等が侵害される

AIネットワーク化のガバナンス

①AIネットワーク化の進展の前提をなすもの

- AIシステムに関するイノベーティブな研究開発
- AIシステム又はAIネットワークサービスの提供に関する公正な競争

②ガバナンスの趣旨

- AIネットワーク化の健全な進展の促進
- AIネットワークの便益の増進
- AIネットワークのリスクの軽減

③ガバナンスの目的

- 利用者の利益の保護
- リスクの顕在化並びに第三者及び社会への波及の抑制
- これらを通じた人間中心の社会「智連社会」の形成

目指すべき社会像としての「智連社会」
(Wisdom Network Society 【WINS】)

人間がAIネットワークと共生し

人機共生

データ・情報・知識を自由かつ安全に創造・流通・連結して「智のネットワーク」を形成することにより

総智連環

あらゆる分野におけるヒト・モノ・コト相互間の空間を越えた協調が進展し

協調遍在

創造的かつ活力ある発展が可能となる
智連社会

本PJの研究成果

『AIが繋げる社会-AIネットワーク時代の法・政策』

AIが繋げる近未来の社会設計を考える

本書は、AIの発展による雇用環境の激変といった注目を集める論点から、AIにより日常的に情報収集が行われることによるプライバシーへの影響、AIを利用した選挙がもたらす民主主義への影響など統治機構に関する問題、さらにはAI・ロボットに関する権利や責任の分配まで、近未来の社会において生じ得るさまざまな問題を想定。来るべき社会に備えた法の役割や政策の課題を、将来の具体的なユースケースを想定したシナリオを示しつつ、第一線の執筆者たちが提言します。

- 第I部 総論
- 第II部 研究開発
- 第III部 データ・情報・知識の流通と利活用
- 第IV部 プライバシーとセキュリティ
- 第V部 AIネットワーク時代における社会の基本ルール
- 第VI部 AIネットワーク時代における人間



今後の課題

1. AI開発ガイドラインの策定
2. AIネットワーク化の進展に向けた協調の円滑化
3. 競争的なエコシステムの確保
4. 経済発展・イノベーションの促進に向けた課題
5. AIネットワーク化の進展に伴う影響の評価指標及び豊かさや幸せに関する評価指標の設定
6. 利用者の保護
7. AIネットワークシステムに関するセキュリティの確保
8. プライバシー及びパーソナルデータに関する制度的課題
9. コンテンツに関する制度的課題
10. 社会の基本ルールに関する検討
11. リスクに関するシナリオの作成・共有
12. 情報通信インフラの高度化の加速
- ...